

INDEX

◆ 相談員の窓 ◆

最近話題の長寿遺伝子(サーチュイン)について

◆ お知らせ ◆

【平成24年「労働者健康状況調査」結果が公表されました(厚生労働省)】

【「職場のパワーハラスメント対策ハンドブック」の配布と「パワーハラスメント対策支援セミナー」全国開催のお知らせ(厚生労働省)】

【「飲食店経営者向けの労働災害防止のためのポイント」が公表されました(厚生労働省)】

【「荷役作業安全ガイドライン」が公表されました(厚生労働省・陸災防)】

【胆管がんなど4つの疾病が労災補償の対象となる業務上疾病となりました(厚生労働省)】

【中小企業の経営者の皆様へ ~講演会のお知らせ~】

◆ 研修・セミナーのご案内(11月・12月)◆

◆ 関係機関の動き

◆◇+.....+◇◆

◆ 相談員の窓 ◆

最近話題の長寿遺伝子(サーチュイン)について

基幹相談員 田吹 好美

(翔労働衛生コンサルタント事務所 所長)

厚生労働省が発表した「2012簡易生命表」によると、日本人女性の平均寿命は86.4歳、男性は79.9歳で、女性は2年ぶりに世界1位に返り咲き、男性は過去最高とのことでした。。

一方、急激な高齢化の進展で、人口に占める高齢者の割合は増え続け、50年後には65歳以上の老年人口は約4割を占めると推計されています。平均寿命が延びると同時に、寝たきりや介護を要する高齢者が増えることが懸念されます。

ただ長生きをするだけでなく、「健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく、介護を必要とせず、自立した生活ができる期間)」を延ばすことが求められます。そこで、最近アンチエイジングの鍵として話題の、長寿遺伝子(サーチュイン)についてレポートします。

● 長寿遺伝子(サーチュイン)とは

長寿遺伝子とは、体内でとても重要な役割を担っている酵素です。細胞の損傷を防いだり、老化を遅らせ若さを保つ働きがあり、抗老化遺伝子とも呼ばれています。最初に発見されたのは、2003年、アメリカのマサチューセッツ工科大学のレオナルド・ガレンテ博士による酵母の長寿遺伝子です。

ヒトには7種類の長寿遺伝子があることが判明されており、それぞれ働きや存在する場所が異なると考えられています。

● 長寿遺伝子のスイッチは普段はオフ

長寿遺伝子は、誰もがもっている遺伝子なのですが、普段はスイッチがオフの状態になっています。が、一度、活性化のスイッチが入ると長寿遺伝子としての役割を担います。この遺伝子が働いているかどうか、老化の速度に影響を与えるとのこと。

● 長寿遺伝子のスイッチをオンにするのは

長寿遺伝子のスイッチを入れるために重要な方法として、以下の3点が知られています。

① 適度な運動

運動による筋肉の収縮が長寿遺伝子を活性化させます。

「ウォーキングよりやや強く ジョギングよりもやや弱い」程度の運動が理想的とされています。おすすめは「インターバル速歩」。「ゆっくり歩く」と「速く歩く」を3分ずつ交互に5回繰り返し、全体で30分週5回以上行うことです。

② カロリー制限

空腹が長寿遺伝子を活性化させます。また、良く「噛む」ことも脳を刺激します。

ビタミンやミネラルなどの栄養素は十分に摂りながら、日頃摂り過ぎがちな炭水化物や脂質、タンパク質は必要に応じて抑えます。

「腹七分目」を目安にカロリー控えめでバランスのよい食生活が目標です。

③ 抗酸化食品(レスベラトロール)の摂取

「レスベラトロール」は、抗酸化食品として知られるポリフェノールの一種です。

長寿遺伝子を活性化させる事が判明し、最近注目を集めています。赤ブドウの皮やピーナツの薄皮、赤ワインなどに含まれます。

まだまだ不透明な点もあり研究途上の分野ですが、今後、数十年の研究の中で寿命や老化と深くかかわる遺伝子がさらに解明されていくと期待されます。

健康寿命の延伸を目指し、今できることから始めましょう。



◆お知らせ◆

【平成24年「労働者健康状況調査」結果が公表されました(厚生労働省)】

厚生労働省は、平成25年9月19日に「平成24年労働安全衛生特別調査(労働者健康状況調査)」の結果をとりまとめ公表した。これによると「職業生活に関して強い不安、悩み、ストレスを感じる事柄がある」とした労働者の割合は60.9%などとなっています。

詳しくは「労働者健康状況調査概況」⇒

http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/h24-46-50_01.pdf

【「職場のパワーハラスメント対策ハンドブック」の配布と「パワーハラスメント対策支援セミナー」全国開催のお知らせ(厚生労働省)】

職場のパワーハラスメントの予防・解決に向けた取組を推進するため、企業の取組の好事例などを紹介した「職場のパワーハラスメント対策ハンドブック」が作成されました。ハンドブックは、都道府県労働局や労働基準監督署などで配布するほか、ポータルサイト「あかるい職場応援団」からも無料でダウンロードできます。

◇職場のパワーハラスメント対策ハンドブック

⇒ <http://www.no-pawahara.mhlw.go.jp/download.html>

◇パワーハラスメント対策支援セミナー

⇒ <http://www.no-pawahara.mhlw.go.jp/events/index>

